

プログラム名 (40字以内)	インドに向けて日本の魅力を発信—日印学術交流推進活動サポートと学生交流		
団体名/所属	インド赤門会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	10人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2024/9/9(月)～9/16(月)予定。場合によっては多少日程が後ろにずれることもある。	主な活動予定場所	インド(デリー、ヴァラナシ他)
プログラム実施の目的	日印学術交流推進活動サポート、学生交流などを通じて、国際協働を体験するとともに、世界でプレゼンスを増すアクチュアルなインドを肌で感じることを目的とする。		
具体的な内容(800字程度)	<p>昨今、インドは世界のあらゆる分野でそのプレゼンスを増しており、今後の世界情勢などに鑑みても、インドは日本にとって最重要パートナーとなっていく可能性が高い。しかし現状では、日印の相互理解またその基礎となる人的交流が十分であるとは言えない。</p> <p>このような認識にたち、在インド日本大使館を中心とした現地の日本語機関・企業等が協力し、日本を紹介するイベントなどを通じて、まずはインドの人々に日本のことを知ってもらおうという取り組みが活発に行われている。</p> <p>2024年9月には、日印交流をさらに盛り上げるべく、Japan Week、Japan Monthといった大型のイベントが企画段階にあり、日印学術交流を目的とした教育イベントなども行われる予定になっている。</p> <p>今回の体験活動プログラムでは、このJapan Weekに日本の学生代表として参加することで、日印学術交流を盛り上げようというものである。</p> <p>プログラム参加者は、月1回程度の事前学習と準備を行い、9月9日～9月16日(予定)にかけてはインドに滞在し、デリーにあるデリー大学(DU)、インド工科大学デリー校(IITD)、ヴァラナシにあるバラナシヒन्दゥー大学(BHU)などに訪問して学生交流会に参加する。事前準備においては、より多くのインド人学生に日本の魅力を伝える方法などについて討議し、各自プレゼンテーションを準備する。準備したプレゼンテーションを交流会にて発表してもらう予定である。</p> <p>参加者は事前の準備を通じて日印両国のことを深く学び、英語でプレゼンを行うという貴重な機会を経験することができる。</p> <p>現地滞在中はデリー近郊の歴史文化遺産および博物館訪問、ヴァラナシではガンジス河見学、仏跡見学など、インドを多角的に学ぶプログラムも予定している。</p> <p>また、東京大学同窓会組織(インド赤門会)のサポートを受け、日本大使館、国際交流基金、JICAなどの国際機関などを訪問し、国際的な舞台で活躍する卒業生などからレクチャーを受ける予定である。</p> <p>学生たちには、この機会にアクチュアルなインドを実際に肌で感じてもらいたいと考えている。インドの学生や同窓会メンバーとの交流を通じて、実体験から様々な学びが得られることを期待する。</p>		
【総額】参加するための費用	72,000円+150,000円～(航空券)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	35,000円(食費含む)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	150,000円～(東京・デリーの往復航空券は11～16万円、国内線航空券代金2～3万円、車等移動費用1～2万円)		
【内訳】参加するための費用(その他)	25,000円(見学等)、12,000円(ヴィザ・保険)		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	本プログラムはインド・デリーでの現地集合現地解散とする。東京・デリーの往復航空券は11～16万円程度。これに国内線航空券代金2～3万円、車での移動費用1～2万円程度が必要。参加者はプログラム開始日の前日までにデリーに到着しておくこと。帰国はプログラム最終日の翌日以降に出発する便を手配すること。旅程作成や準備については、こちらでサポートする。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		